

※今後の被災地支援や起こりうる自然災害、日常の防災・減災活動に向き合う学生を対象とした研修会です。

東日本大震災 災害復興支援の体験から学ぶ コミュニティ支援力養成研修会

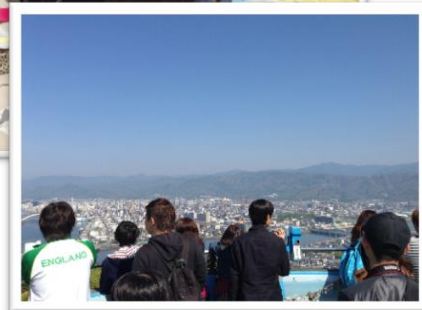
第5回となる研修会のテーマは、

【災害時をイメージし、備えを考える】

～地域を感じ、想像力と創造力を発揮してみよう！～

第1回でのテーマ、【続ける力】【生み出す力】【備える力】【向き合う力】【見極める力】【つなぎつむぐ力】に続き、第2回は具体的な拠点整備と運営の仕組みづくりを学びました。第3回は、東海地震発生を想定し、被災した地域の支援拠点となる大学や周辺施設を活用した大規模なシミュレーションを実施しました。第4回は、阪神・淡路大震災から18年が経過した神戸のまちの復旧・復興、支援の在り方を学びました。

5回目となる今回は、南海・東南海地震の発生による大規模な被害が想定されている高知県の高知県立大学を会場とします。未来の被災地となる高知県。“未災地”の高知の姿から、災害発生前、災害発生時、そして災害発生後に、何が必要か、何ができるか、時間の経過と共に変化する状況・支援をイメージし、みなさんで考えてみましょう。



日時：2014年3月8日(土)11時～3月9日(日)15時
場所：高知県高知市内<高知県立大学池キャンパス 他>
対象：災害復興支援に向き合う全国の学生

参加費 3,000円

※食費・宿泊費の実費

※高等教育機関(大学、専門学校等を原則とします)

内容

- 災害発生から72時間、被災地での大学の役割を考える。
- 南海・東南海地震発生時の学生ボランティアの連携の可能性を探る
- 南海地震での被害想定を知る
- DIGを使ったフィールドワーク
- 避難所設置・運営体験等

【持ち物】

- ※筆記用具
- ※1泊2日の生活用品
- ※寝袋等
(体育館宿泊のため)



◆無料送迎バスのお知らせ◆

京都、神戸から無料送迎バスが運行されます。

出発：京都発 3/8,06:00、神戸発07:20

解散：神戸着 3/9,18:40、京都着20:00

上記の発着時刻は予定です。

詳細は参加者宛にご案内いたします。



【お問い合わせ】

NPO法人 さくらネット

email: cm2013_kobe@yahoo.co.jp

【お申し込み・研修会の詳細】 ※定員70名

NPO法人 いわてGINGA-NET公式HP

<http://www.iwateginga.net>

※本研修会は文部科学省「大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業」として、岩手県立大学と高知県立大学、NPO法人いわてGINGA-NET、NPO法人さくらネットが協働で実施しています。